


Digital Color Printer

デジタルカラープリンター

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

UP-D70A

⚠ 警告 安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

32ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ➔
- ① 電源を切ります。
 - ② 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
 - ③ お買い上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

UP-D70Aは国際エネルギープログラムの要件を満たしている製品です。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムの説明

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的プログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能をそなえた製品の開発、普及の促進を目的としたものです。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



⚠ 警告	5
⚠ 注意	6

はじめに

この取扱説明書について	8
本機の特長	10
主な使用例	10
各部の名称と働き	11
前面	11
裏面	12

準備

付属品を確認する	13
組み立てる	14
接続する	15
コンピューターと接続する	15
プリンタードライバソフトウェアをインストールする	16
DIP スイッチを設定する	16
電源コードを接続する	17
SCSI デバイスタイプの設定を確認する	18

操作

プリントする前に	19
インクリボンカセットを取り付ける	19
プリント紙を入れる	22
プリントする	24
プリント枚数を設定する	27
プリント画を調整する	28
グレーバランスを調整する	30

その他

本機の性能を保持するために	32
使用上のご注意	32
お手入れ	33
使えるインクリボンとプリント紙	34
主な仕様	35
保証書とアフターサービス	36
故障とお考えになる前に	37
エラーメッセージ一覧	37
つまった紙を取り除く	39
索引	41
五十音順	41
アルファベット順	43



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。



指示

本機は日本国内用です

交流100Vでお使いください。海外など異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口へ交換をご依頼ください。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

この取扱説明書に記載されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどを開けたり、改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご依頼ください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



注意

下記の注意を守らないと、

けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



注意

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



注意

付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。



アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

安全アースを取付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

製品の上に乗らない、重いものを乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



プラグをコン
セントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



注意

本体内部に手を入れない

必要な時(フィルターの清掃、紙づまりの処理など)以外に、本体内部の機構部品をさわると、鋭利なエッジ(金属端)などにより、けがの原因となることがあります。



高温

プリント直后感熱ヘッドに触れない

プリント直後は、感熱ヘッドが熱くなっている場合があり、触れるとやけどの原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



注意

重い製品の運搬は、二人以上で

重量のある機器の開梱、運搬はけがを防ぐため、必ず二人以上で行ってください。



指挟み

本体内部に手を置いて、カバーを閉めない

本体内部に手を置いたままカバーを閉めると、けがの原因になることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となる場合があります。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この取扱説明書について

本書は、UP-D70Aシリーズのデジタルカラープリンターに共通のものです。
本書で説明する操作は断わりのない限り全てのUP-D70Aシリーズに共通です。
シリアル番号6桁のUP-D70Aについては、一部異っているところがあります。
操作が異なる場合は別々に説明してありますので該当する部分をお読みください。

各章の概略

ここでは、本書全体の構成を把握していただくために、各章の概略と表記上の決まりなどを説明します。

はじめに

本書の概略や表記上の決まり、操作の前に知っておいていただきたい本機の特長や使用上のご注意について説明しています。

また、「各部の名称と働き」では、本機を操作するために必要なプリンター本体のボタン類の名称と働きについて簡単に説明しています。

準備

本機を初めて設置するときの付属品の組み立てや接続について説明しています。これらの操作は日常のプリント前に毎回行うものではありません。必要に応じて行ってください。

操作

ここでは、前章での準備が済んで実際のプリントを始める前に必要なインクリボンカセットやプリント紙の取り付けかた、プリント操作の手順、プリント枚数の設定やプリント画の色調整、グレーバランスの調整のしかたについて説明しています。

その他

主な仕様や、本機の性能を保持するための使用上のご注意、使用中に困ったことが起きたときに自分で確認できることなど、技術的な情報について説明しています。

表示上の決まり

本書では、操作に関する情報を次のような決まりに従って記述しています。

参照情報

他の節に関する情報や操作方法が記載されている場合は、参照ページを示してあります。

ご注意について

本書の中では、**ご注意**の見出しで、本機を正しくお使いいただくための注意事項を示してあります。故障や不都合の発生を防ぎ、期待に沿う操作結果を得ていただくためにも、「本機の性能を保持するために」と併せて必ずお読みください。

- Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- MS-Windows は、米国マイクロソフト社の商標です

プリンタードライバーの説明書について

本機でプリントするためには、コンピューターにプリンタードライバーソフトウェアをインストールする必要があります。プリンタードライバーソフトウェアの取扱説明書は、付属のCD-ROMにあります。詳しくはReadMe ファイルをお読みください。

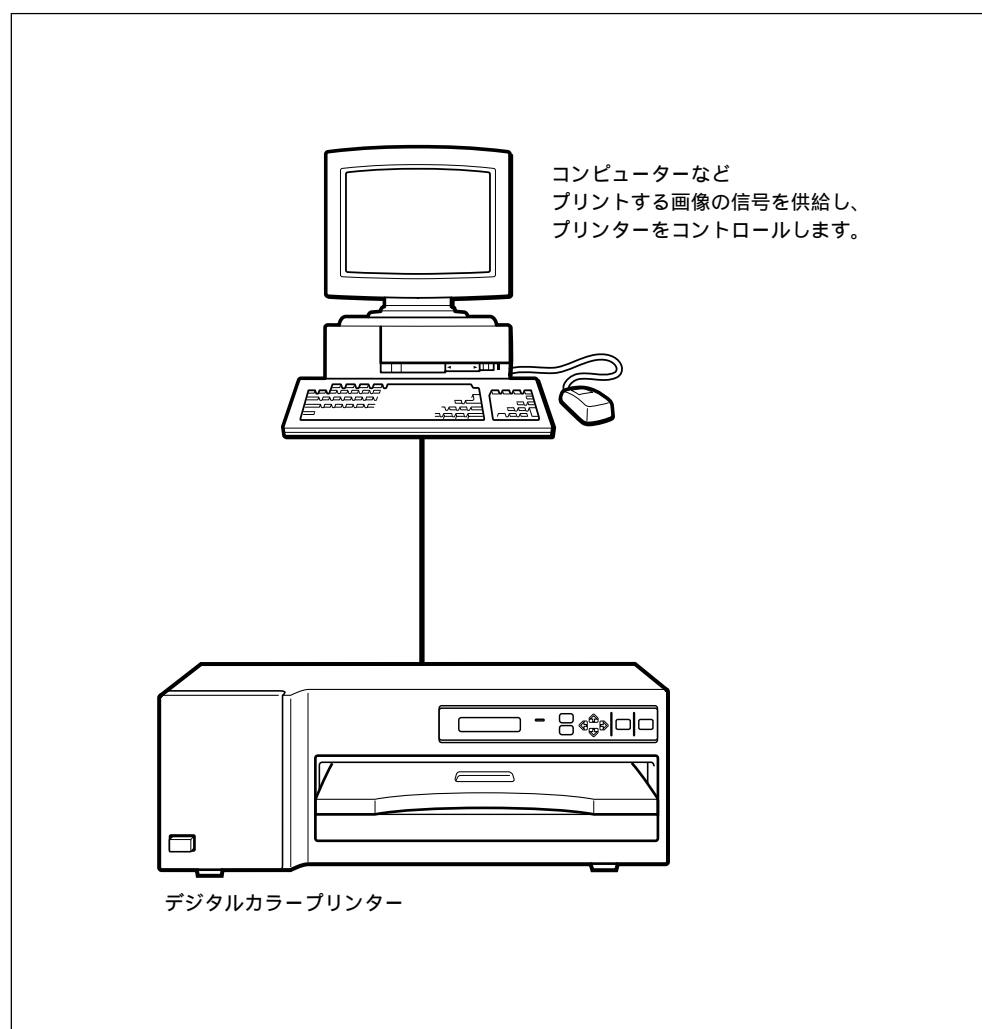
本機の特長

デジタルカラープリンターUP-D70Aは、コンピューターなどの画像データをA4版のプリント紙に、フルカラー（各色256階調、1670万色）あるいは白黒でプリントするための、高画質、高解像度（300dpi）、高速の昇華熱転写型デジタルカラープリンターです。

Macintosh や MS-Windows のグラフィックスあるいはフォトタッチソフトウェアの画像を簡単にプリントすることができます。

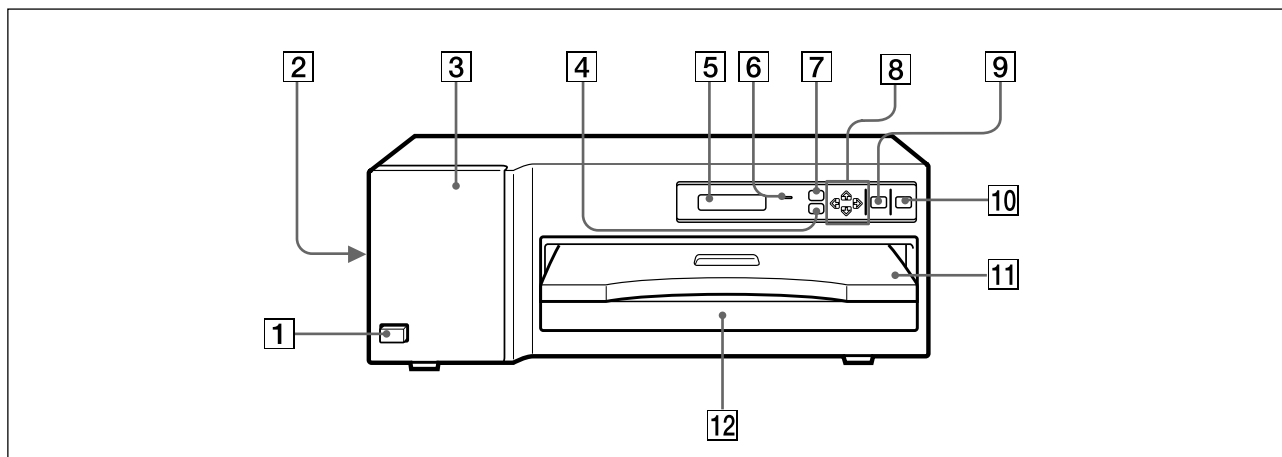
主な使用例

プリンターの主な使用例を下図に示します。



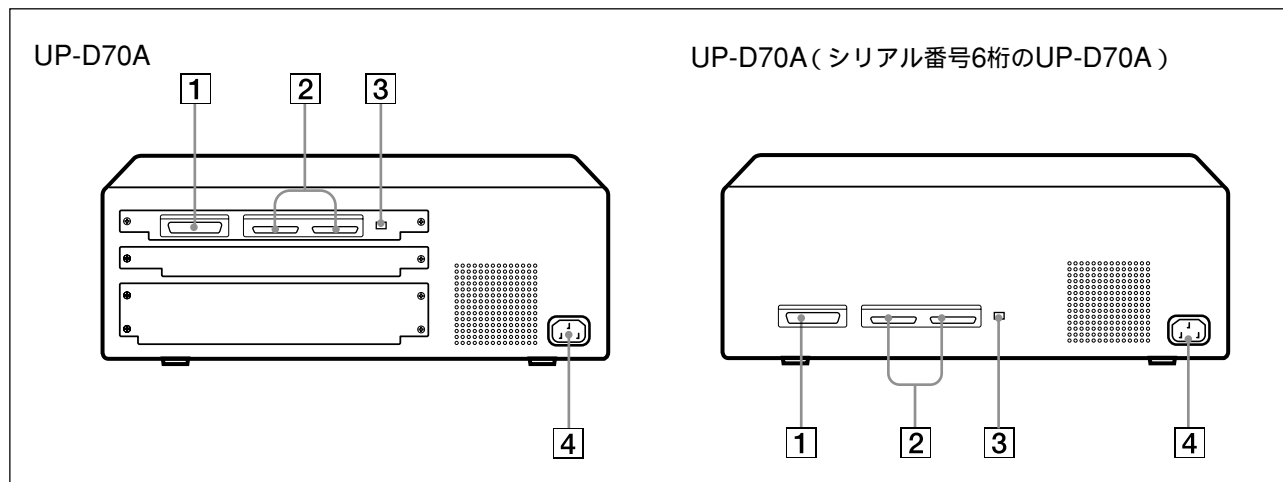
各部の名称と働き () 内の数字は、参照ページを示します。

前面



- ① ① POWER(電源)スイッチ
プリンターの電源をON/OFFします。
- ② ファンカバー(14、33)
ほこりよけのカバーです。
- ③ リボンドア(19)
インクリボンカセットを取り付けるときに、PULLと書いてある場所を引いて開けます。
- ④ PRINT QTY(プリント枚数設定)ボタン(27)
プリント枚数を設定するときを押します。液晶ディスプレイにプリント枚数設定メニューが表示されます。メニュー画面から標準画面に戻るときにも押します。
- ⑤ 液晶ディスプレイ
通常は、本機の状態を示すメッセージを表示します。メニュー操作時はプリント枚数設定メニュー、プリント画調整メニュー、グレーバランス調整メニュー、SCSIデバイスタイプメニューの設定を、エラー発生時はエラーメッセージを表示します。
- ⑥ ALARM(アラーム)ランプ(37)
インクリボンカセットやプリント紙がなくなったときや紙づまりなどの異常が起きたとき、オレンジ色に点灯します。
- ⑦ MENU(メニュー)ボタン(18、28、30)
プリント画の画質やグレーバランスの調整、SCSIデバイスタイプの設定をするとき押します。押すと各メニューが液晶ディスプレイに表示されます。メニュー画面から標準画面に戻るときにも押します。
- ⑧ カーソル移動ボタン(18、27、28、31)
設定値や設定レベルを増減したり、メニューの項目を選ぶときに押します。
- ⑨ ⏹ STOP(プリント停止)ボタン(25)
プリントを途中で止めるときに押します。
- ⑩ 🖨️ PRINT(プリント)ボタン(24、25、27)
プリントするときに押します。
- ⑪ 排紙トレイ(14)
プリント画が排出されます。
- ⑫ 給紙トレイ(14)
プリント紙を入れるときに、PUSHと書いてある場所を押して給紙トレイを取り出します。

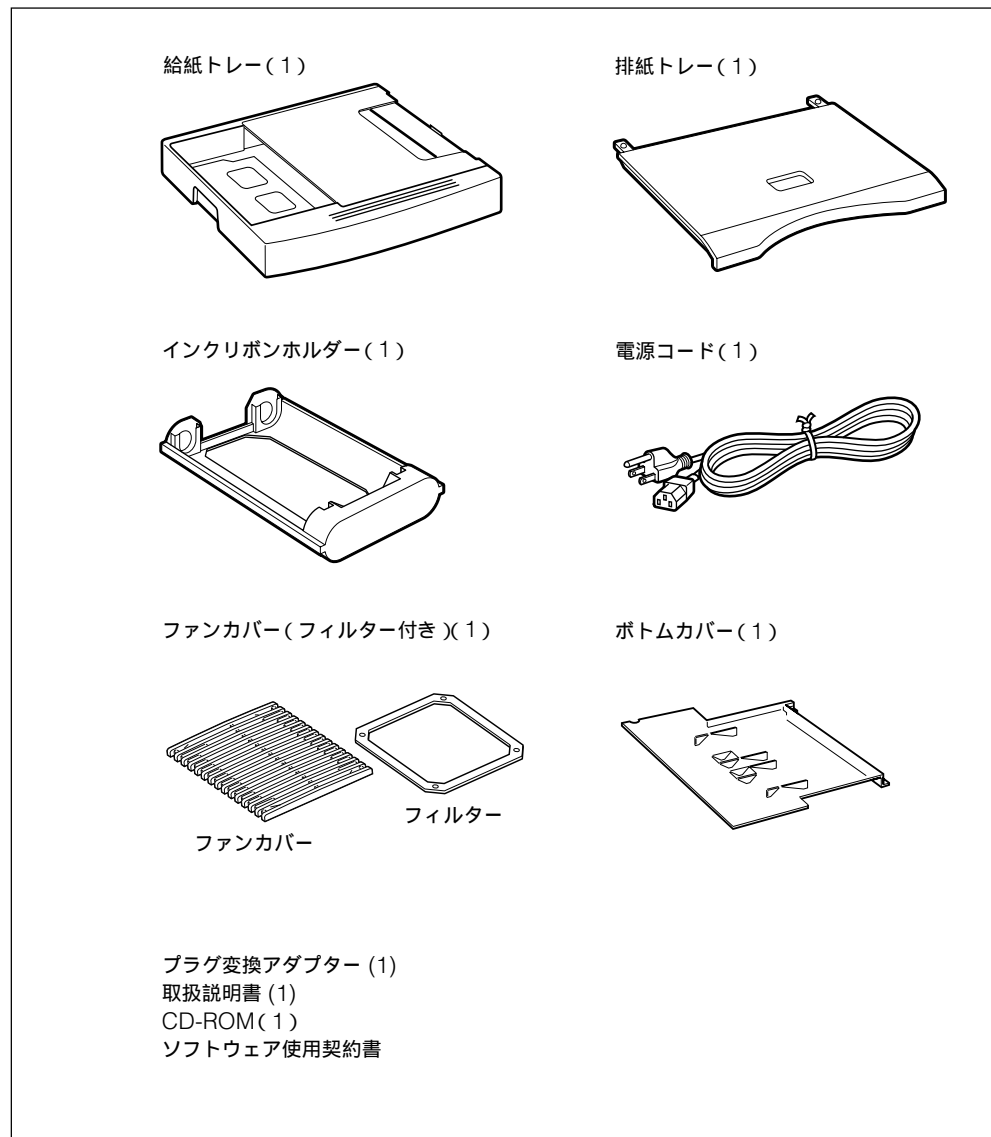
裏面



- ① PARALLEL DATA IN(パラレルデータ入力)コネクター(アンフェノール型36ピン)(15)
パラレルインターフェースを介してWindowsのコンピューターをインターフェースケーブルで接続します。
- ② SCSIコネクター(ハーフピッチ50ピン)(15)
WindowsやMacintoshのコンピューターやその他のSCSI機器をSCSIケーブルで接続します。いずれか一方のコネクターが空きになる場合には、DIPスイッチで内蔵ターミネーターをONに設定してください。
(「DIPスイッチを設定する」(16ページ))
- ③ DIPスイッチ(16)
SCSIデバイスのID番号を設定します。また、内蔵ターミネーターのON/OFFを設定します。
(「DIPスイッチを設定する」(16ページ))
- ④ ~AC IN(電源入力)端子(17)
電源コード(付属)をつなぎます。

付属品を確認する

付属品を確認してください。



ご注意

- ・ 梱装箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。
- ・ 輸送の際は、プリンター内部の感熱ヘッドを固定してください。(32ページ)

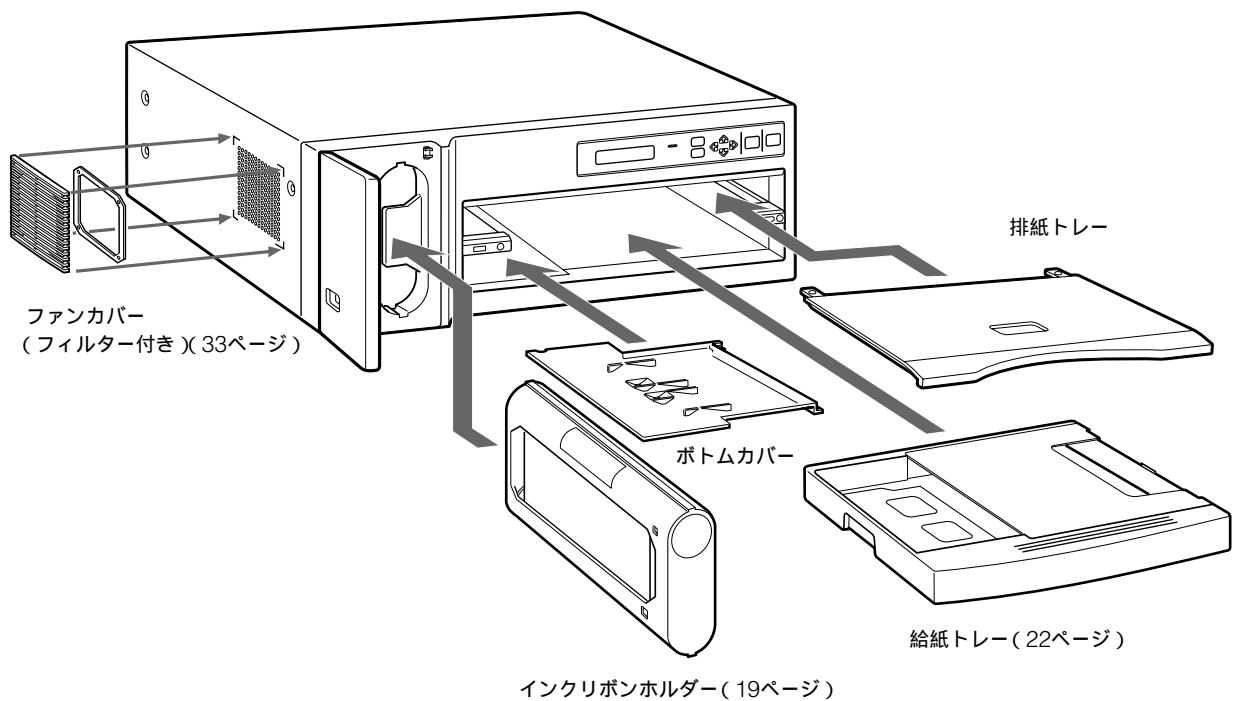
組み立てる

付属の給紙トレイ、排紙トレイ、インクリボンホルダー、ボトムカバー、ファンカバーを本体に取り付けます。

ご注意

プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドが固定されていますのでインクリボンホルダーが装着できません。電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンホルダーを装着してください。(32ページ)

プリンターを輸送するときは、感熱ヘッドを固定してください。(「輸送するときは」(32ページ))



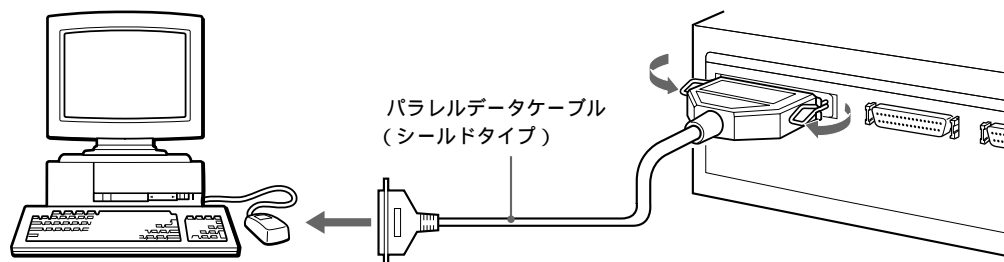
コンピューターと接続する

Windows とは、SCSI インターフェースまたはパラレルインターフェースを介して、また Macintosh とは SCSI インターフェースを介して接続します。

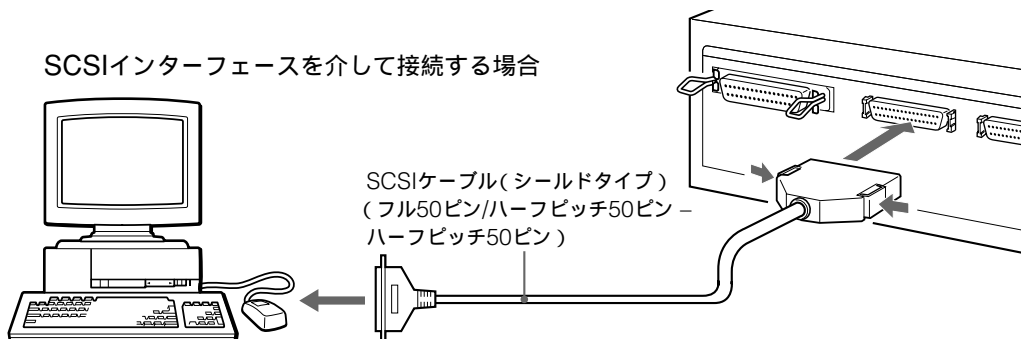
ご注意

- ・ ケーブルを接続するときは、コンピューターおよびすべての接続機器の電源を切ってから行ってください。
- ・ 1台のプリンターには、1台のホストコンピューターを接続してください。同時に2台接続しないでください。
- ・ SCSI インターフェース、パラレルインターフェースを装備するホストコンピューターをプリンターの PARALLEL DATA IN コネクタと SCSI コネクタに同時に接続しないでください。
- ・ ケーブルのコネクタは最後までしっかり挿入してください。
- ・ 1台のホストコンピューターに接続する SCSI ケーブルの合計の長さは、6m 以内にしてください。
- ・ パラレルデータのケーブルは3m以内のものを使用し、セントロニクス仕様のプリンターケーブルであることを確認してください。
- ・ SCSI コマンドを実行中にパラレルデータをプリンターに送らないように注意してください。また、その逆も行わないでください。
- ・ 使用するケーブルは、接続するコンピューターや周辺機器によって異なります。詳しくは、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

パラレルインターフェースを介して接続する場合



SCSIインターフェースを介して接続する場合



ご注意

プリンターを SCSI バスの物理的終端に接続する場合は、内蔵ターミネーターを ON に設定します。

(16 ページ)

プリンタードライバーソフトウェアをインストールする

付属のプリンタードライバーをインストールします。

プリンタードライバーソフトウェアの取扱説明書は、付属のCD-ROMにあります。詳しくはReadMeファイルをお読みください。

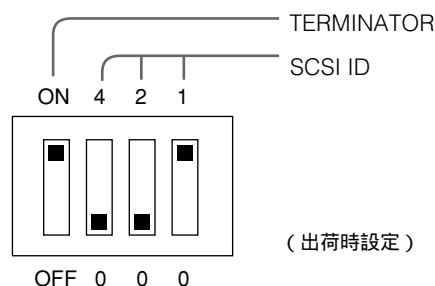
DIPスイッチを設定する

裏面パネルに付いているSCSI ID DIPスイッチでSCSI ID と内蔵ターミネーターのON/OFFを設定します。

工場出荷時には、DIPスイッチは次のように設定されています。

ターミネーターのON/OFF

本機をSCSIバスの物理的終端に接続する場合はターミネーターをONに、それ以外の場合はOFFに設定します。



スイッチ	ON	OFF
TERMINATOR	内蔵ターミネーターがONになる。 ^{a)}	内蔵ターミネーターがOFFになる。

a) 工場出荷時の設定

SCSI IDの設定

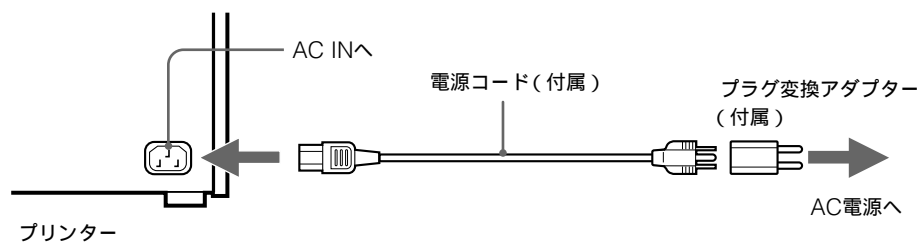
他のSCSI 機器と重複しないようにSCSI IDを設定します。SCSI IDが重複すると誤動作の原因となります。

SCSI ID	SCSI IDスイッチ		
	4	2	1
0	0	0	0
1 ^{a)}	0	0	1
2	0	2	0
3	0	2	1
4	4	0	0
5	4	0	1
6	4	2	0
7	4	2	1

a) 工場出荷時、SCSI IDは1に設定されています。

電源コードを接続する

付属の電源コードを電源コンセントに接続します。電源コードをコンセントに接続する前に、電源コードのプラグにプラグ変換アダプター(3ピン↔2ピン)を取り付けます。



ご注意

必ず規定の電源(100V 50/60Hz)でお使いください。

SCSIデバイスタイプの設定を確認する

Windows 95をオペレーティングシステム(OS)としているコンピューターにUP-D70Aを接続してご使用の際、コンピューター側でIOS. VXD のエラーメッセージが現れた場合は、次の設定を行うか、または、IOS. VXD デバイスドライバーのアップデートを入手してインストールしてください。

- 1 MENU ボタンを押したまま、プリンターの電源を入れる。
- 2 液晶ディスプレイの表示を確認し、<>内の数字が使用環境にあっているか、確認する。

Windows95をお使いの場合は、SCSI Device Typeは3にします。



SCSI Device Type
2 <3>

- 3 あっていない場合は、←、→キーでSCSI Device Typeを<3>に設定する。
- 4 電源を切る。

SCSI Device Typeは3に設定されました。

プリントする前に

ここでは、プリンターの準備が済んで、実際のプリントを始める前の準備として、プリントに必要な次の操作について説明します。

- ・ インクリボンカセットを取り付ける(下記)
- ・ プリント紙を入れる(22ページ)

これらの操作は、日常のプリント操作前に毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

ご注意

- ・ インクリボンカセットを交換したりプリント紙を取り付ける場合は、電源を切らないでください。電源を切ると記憶した画像が消えてしまいます。
- ・ インクリボンカセットを交換したりプリント紙を取り付けた場合は、グレーバランスの調整を行ってください。(「グレーバランスを調整する」30ページ)
- ・ インクリボンカセットに使用するインクリボンとプリント紙はセットになっています。取り付ける前に、インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しいかどうか確認してください(「使えるインクリボンとプリント紙」34ページ)。インクリボンとプリント紙の組み合わせが適当でない場合は、エラーメッセージが表示され、プリントはできません。
- ・ 必ず本機専用のインクリボンとプリント紙をお使いください。(「使えるインクリボンとプリント紙」34ページ)専用以外のインクリボンとプリント紙をお使いになると誤動作や故障の原因となります。

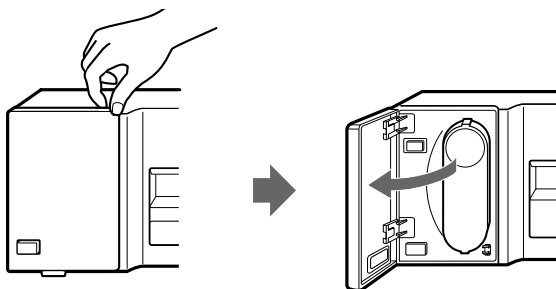
インクリボンカセットを取り付ける

付属のインクリボンホルダーに別売りのインクリボンを装着し、インクリボンカセット(インクリボンホルダーにインクリボンを装着したものを指します)をインクリボンカセット収納部に取り付けます。

ご注意

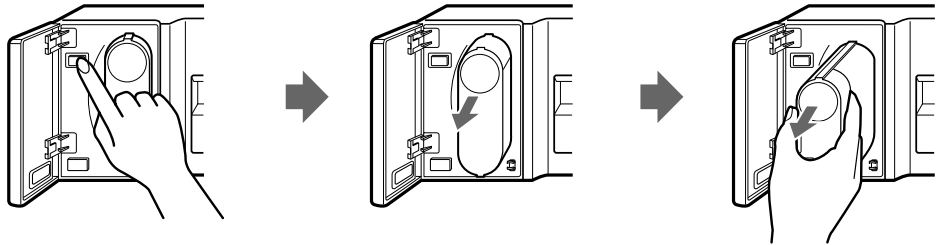
- ・ プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドが固定されています。電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンカセットを装着してください。(32ページ)
- ・ 輸送の際は、インクリボンカセットをはずし、感熱ヘッドを固定してください。(32ページ)
- ・ 使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- ・ インクリボンを巻き戻して使用しないでください。
- ・ インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、感熱ヘッドの故障の原因になることがあります。

- 1 リボンドアのPULLと書いてある部分を引く。
リボンドアが開きます。



(続く)

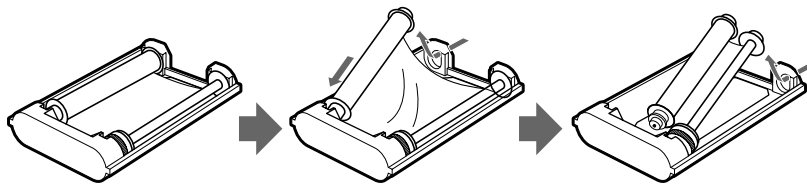
- 2** EJECT (インクリボンカセット取り出し) ボタンを押す。
インクリボンカセットが出てきます。



ご注意

インクリボンカセット装着口の内部に手を入れないでください。中にある感熱ヘッドが熱くなっている場合があります。

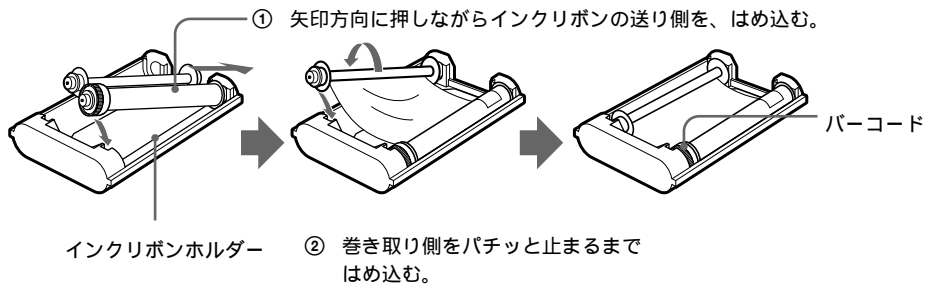
- 3** 使用済みのインクリボンをインクリボンホルダーから取りはずす。



① 矢印方向に押しながら
巻き取り側をはずす。

② 送り側をはずす。

- 4** 新しいインクリボンのシールを取り、インクリボンホルダーに装着する。



① 矢印方向に押しながらインクリボンの送り側を、はめ込む。

インクリボンホルダー

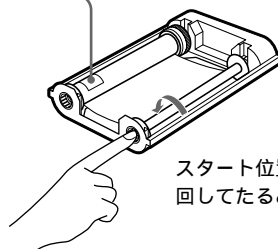
② 巻き取り側をパチッと止まるまで
はめ込む。

バーコード

- 5** リボンのたるみを取る。

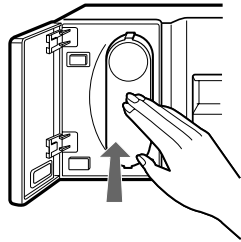
たるんだまま差し込むと、挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。

スタート位置マーク



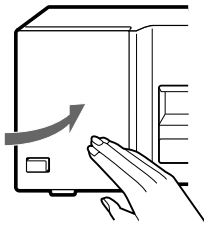
スタート位置マークが上に向くようにスプールを
回してたるみをとる。

6 インクリボンカセットを入れ、止まるまで押し込む。

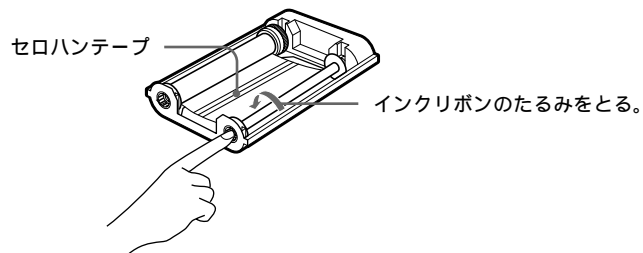


SONYのマークを正面に

7 リボンドアを閉める。



インクリボンが途中で切れてしまったときは
透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。



インクリボン保存上のご注意

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 使用中で長期間保存する場合は、製品の入っていた防湿袋などに入れて保存してください。

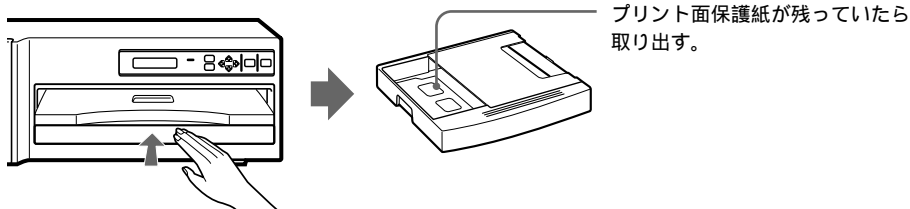
プリント紙を入れる

次の手順でプリント紙を入れます。プリント面には手を触れないように注意してください。

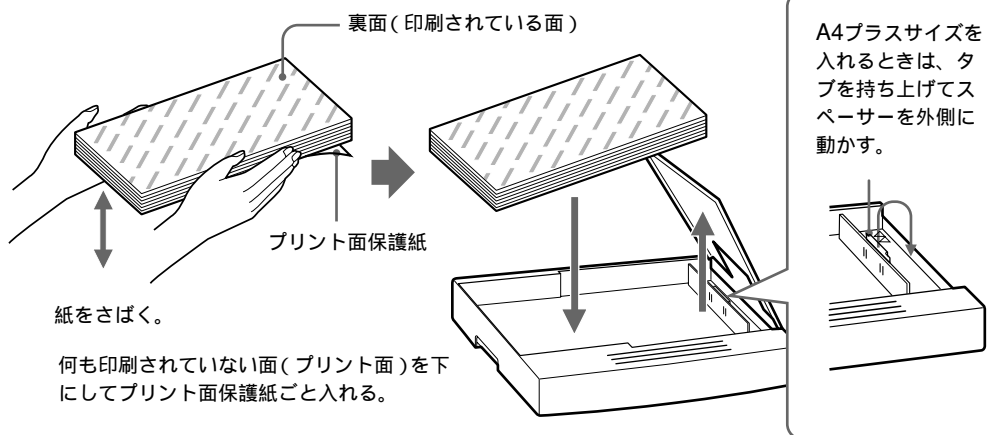
ご注意

プリント紙を入れる場合は、電源を切る必要はありません。電源を切るとメモリーに記憶された画像データが消えてしまいます。

- 1 給紙トレーのPUSHと書いてある部分を押す。
給紙トレーが取り出せます。



- 2 トレーカバーを持ち上げ、プリント紙を給紙トレーに入れる。

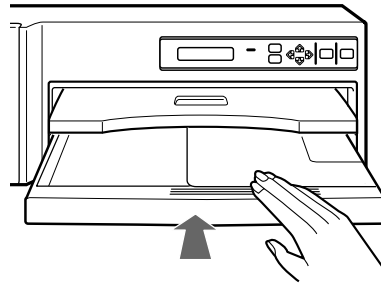


ご注意

1個のインクリボンでプリントできる枚数とプリント紙の枚数は同じです。通常はインクリボンとプリント紙は同時になくなりますが、プリント紙だけ補充するような場合は、次の点にご注意ください。

- ・ 給紙トレーに入る紙の量は100枚(1袋分)です。入れすぎると紙づまりの原因になります。また、違った種類のプリント紙を混ぜて入れないでください。
- ・ 給紙トレーにプリント紙を追加する場合は、プリント面保護紙をはがしてから、すでにトレー内に入っているプリント紙の上に重ねてください。
- ・ プリント紙は、インクリボンとセットになっているものを入れてください。インクリボンと異なる組み合わせのプリント紙を入れるとグレーバランスが変化する場合があります。
- ・ プリント紙が反っていたり、給紙トレーからはみ出していると、プリント位置がずれたり、紙づまりの原因になります。

3 トレーカバーを閉じて、給紙トレーをカチッと音がるまで差し込む。



ご注意

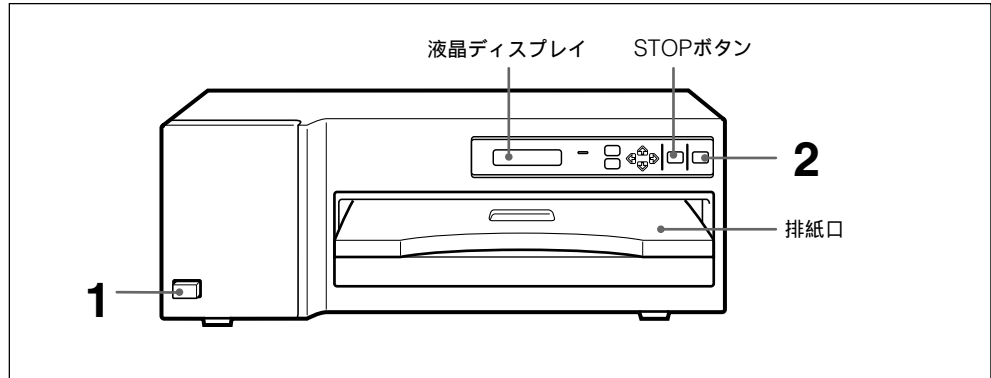
プリント紙を保存するときは

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- 使用中で本体から取り出して長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋などに入れて保存してください。

プリントする

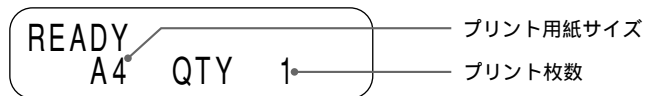
プリントを始める前に

- ・ プリンターとコンピューターなどの接続は済んでいますか。(15 ページ)
- ・ 給紙トレイ、排紙トレイ、インクリボンカセットは正しく取り付けられていますか。(14、19、22 ページ)
- ・ インクリボンとプリント紙は正しい組み合わせでセットされていますか(34 ページ)



1 コンピューターとプリンターの電源スイッチを入れる。

数秒後、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。READY表示が出ている間は、いつでもプリントできます。



ご注意

- ・ プリンターとコンピューターをSCSIバスで接続している場合は、プリンターの電源を先に入れてください。
- ・ コンピューターがハードディスクやフロッピーディスク、または他のSCSI機器をアクセス中に、プリンターの電源を入れたり切ったりしないでください。

2 コンピューターからプリンターに画像データを送り、プリントする。または、プリンターのPRINTボタンを押す。

詳しくはCD-ROMのReadMeファイルをご覧ください。

- ① 画像データが送られてくると、次のメッセージが表示されます。

画像データは、プリンター内のメモリーに記憶されます。



データ転送中であることを示す。

- ② コンピューターからプリント命令を送るか、プリンターのPRINTボタンを押します。プリントが始まり、次ページのメッセージが表示されます。

PRINTING
<YELLOW> QTY 1

カラープリント(プリント過程によって色表示が変わる): プリント開始 → YELLOW → MAGENTA → CYAN → プリント終了
ラミネートプリント(プリント過程によって色表示が変わる): プリント開始 → YELLOW → MAGENTA → CYAN → LAMI → プリント終了

- ③ 1、2分後に排紙口からプリント画が出てきます。プリント時間は画像サイズ、インクリボン、解像度により異なります。プリントが終ると、READY表示に戻ります。

READY
A4 QTY 1

ご注意

- ・プリント中の用紙が見えますが、途中でプリント紙を無理に引き出したりしないでください。
- ・排紙口には、プリント画を20枚以上ためないようにしてください。紙づまりの原因になります。

プリントを途中でやめるには

コンピューターからプリント中止の命令を送るか、プリンターのSTOPボタンを押します。プリントが中止され、次のメッセージが出て、プリント紙が排出されてからREADY表示に戻ります。

PLEASE WAIT

ご注意

Windowsのコンピューターをご使用の場合、データ転送中にプリンターのSTOPボタンを押して中止するとコンピューターがハングアップする場合があります。

同じ画像を続けてプリントするには

コンピューターからプリントコマンドを送るか、プリンターのPRINTボタンを押します。記憶されている画像データが再びプリントされます。

メモリーについて

コンピューターから送られる画像データは、プリンター内のメモリーに記憶されます。

プリントできないとき

- エラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されているときは、操作できません。「エラーメッセージ一覧」(37 ページ)をご覧ください。
- 電源スイッチを切ると転送した画像がプリンターのメモリーから消えてしまい、PRINTボタンを押しても何もプリントされません。もう一度画像を転送してからプリントしてください。

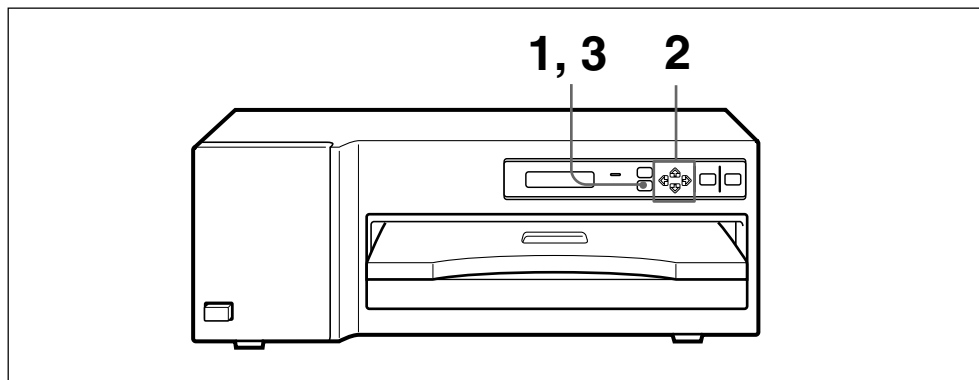
ご注意

プリント画を保存するときは

- 直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。色が退色する場合があります。
- プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑性を含むものに触れさせないでください。
- プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

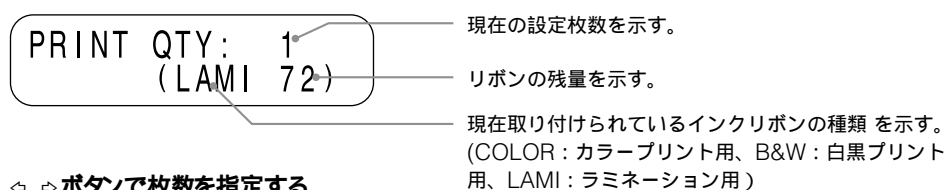
プリント枚数を設定する

同じプリント画を20枚まで続けてプリントすることができます。プリントする前、またはプリント中に枚数を設定することができます。



1 PRINT QTY ボタンを押す。

液晶ディスプレイにプリント枚数 (PRINT QTY) 設定メニューが表示されます。

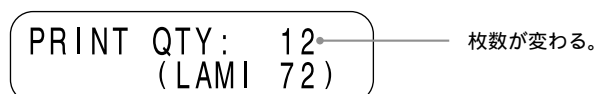


2 ⇐ ⇨ ボタンで枚数を指定する。

⇨: 枚数が増加します。

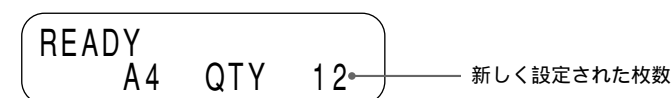
⇦: 枚数が減少します。

ボタンを押し続けると、増減が速くなります。



3 PRINT QTY ボタンを押してプリント枚数設定メニューを解除する。

液晶ディスプレイがREADY表示に戻り、設定した枚数でプリントできます。



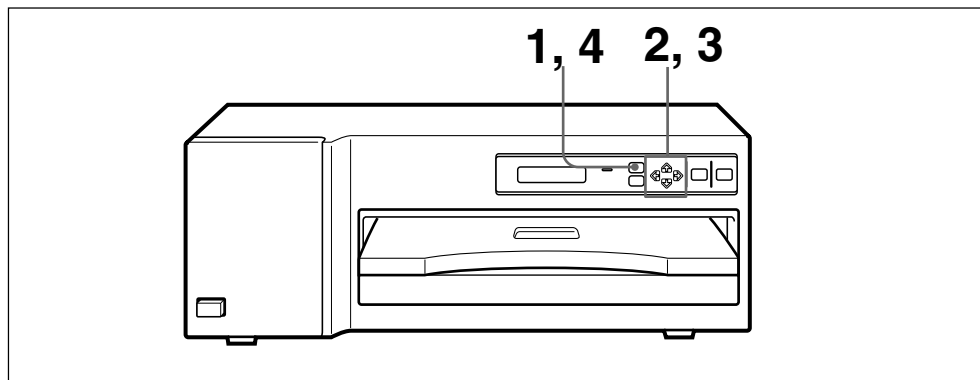
プリント中にプリント紙がなくなったときは
プリント紙を補給してPRINT ボタンを押します。残りの枚数がプリントされます。

ご注意

- 本機の電源スイッチを切ると、プリント枚数は1に戻ります。
- コンピューターのソフトウェアで設定した値とプリンターで設定した値が異なる場合は、常に最後に設定した値が有効になります。
- プリント画が排出される度に、液晶ディスプレイの枚数の値は1つずつ小さくなり、残りのプリント枚数を表示します。

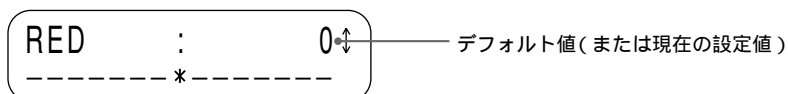
プリント画を調整する

プリント画の色調、階調、画質、中間調、ラミネーションパターンを調整できます。一度調整すると、次に調整し直すまで同じ色調、階調、画質、中間調、ラミネーションパターンでプリントできます。



1 MENU ボタンを押す。

2 ⇐、⇒ ボタンを押して液晶ディスプレイに「COLOR ADJUST」の項目を表示させる。
プリント画調整メニューの最初の項目「RED」(赤)が液晶ディスプレイに表示されます。
デフォルト値または現在の設定値が、数字およびグラフで表示されています。



3 調整を行う。

① ⇐、⇒ ボタンを押して調整する項目を選びます。

⇒: 次の項目が表示されます。

⇐: 前の項目が表示されます。

② ⇐、⇒ ボタンを押して調整します。

色調のRED、GREEN、BLUE、階調のDARK、LIGHT、GAMMAは、- 32 から + 32 までの 65 段階で調整できます。数値の0、グラフの中間が標準です。

⇒: 数値が大きくなります。(+ 32 まで)

⇐: 数値が小さくなります。(- 32 まで)

SHARPNESSは、NONE(なし) / LOW(弱) / MIDDLE(中) / HIGH(強)の4段階で調整します。

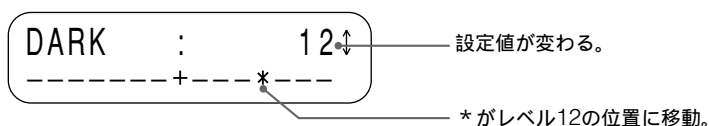
LAMINATIONは、OFF / Glossy / NonGlare / Texture / Matteの5種類の中から選びます。

調整する項目		調整内容	
色調	RED	赤色部分が強調されます。 ^{a)}	
	GREEN	緑色部分が強調されます。 ^{a)}	
	BLUE	青色部分が強調されます。 ^{a)}	
階調	DARK	暗い部分の階調が強調されます。 ^{a)}	
	LIGHT	明るい部分の階調が強調されます。 ^{a)}	
画質	SHARPNESS	画像の輪郭が強調されます。	
中間調	GAMMA	中間調の色の濃度が濃くなります。 ^{a)}	
ラミネーションパターン	OFF	ラミネーションを使わないとき。	
	LAMINATION	Glossy	光沢があるプリント画になります。
		NonGlare	つや消しのプリント画になります。
		Texture	絹目のプリント画になります。
		Matte	霧がかかったようなプリント画になります。

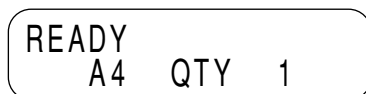
a) ⇨を押した場合

例：DARKをレベル12に設定する場合

⇨ボタンを12回押します。



4 MENU ボタンを押して調整メニューを解除する。
READY 表示に戻ります。



ご注意

- コンピューターのアプリケーションソフトウェアでプリント画を調整することもできます。本機で設定した値とソフトウェアで設定した値が異なる場合は、常に最後に設定した値が有効になります。
- 新しく設定した値は、次のプリント時から有効です。なお、プリント中は調整はできません。
- MENU ボタンを押して約15秒間どのボタンも押さないと、自動的にREADY表示に戻ります。

グレーバランスを調整する

新しいインクリボンとプリント紙は、同じ箱に入っているものをペアで使用します。ペア毎にグレーバランスにばらつきがある場合があります。

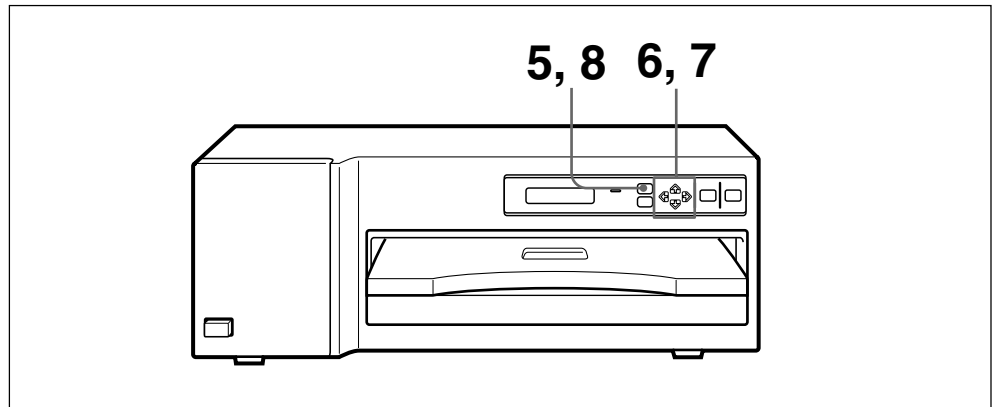
新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときに、グレーバランスの調整を行うことをおすすめします。

出荷時はグレーバランスはNo.0に設定されています。設定した値は電源を切っても保持されます。

グレーバランスの調整を行う前に

次の操作を行ってください。

- SHARPNESS、LAMINATION以外のプリント画の調整値をすべて0に設定してください。(28ページ)
コンピューター側のプリンタードライバーソフトウェアで色調整を行っている場合も同様に行ってください。
- グレーバランスの設定もNo.0に設定してください。(下記参照)



- 1** お手持ちのアプリケーションプログラムを使って、付属のCD-ROMのImageフォルダー内のGrayADJ1ファイルを開き、グレー調整パターンをプリントする。
- 2** プリント結果を見ながら、No.0～No.36のパターン中、グレーバランスが最適と思われるものを選ぶ。
- 3** 最適なものが見つからない場合は、GrayADJ2のファイルを開き、グレー調整パターンをプリントする。
- 4** プリント結果を見ながら、No.37～No.72のパターン中、グレーバランスが最適と思われるものを選ぶ。
- 5** MENUボタンを押す。

- 6** ⇐、⇨ ボタンを押して液晶ディスプレイに「GRAY ADJUST」の項目を表示させる。
グレーバランス調整モードに入ります。

GRAY ADJUST
No. = 0

- 7** ⇐、⇨ ボタンを押して手順2または4で選んだパターン番号を表示させる。
例：手順2でNo.18のパターンのプリントがグレーバランスが最適と判断した場合

GRAY ADJUST
No. = 18

- 8** MENU ボタンを押して調整メニューを解除する。
READY 表示に戻ります。

READY
A4 QTY 1

グレーバランスが調整されました。

調整後、グレー調整パターンをプリントすることにより、No.0のパターンが手順7で選択した番号のグレーに補正されていることが確認できます。

ご注意

- ・ 新しく設定した値は、次のプリント時から有効です。なお、プリント中は調整はできません。
- ・ MENU ボタンを押して約15秒間どのボタンも押さないと、自動的にREADY表示に戻ります。

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2ページ)「警告」(5ページ)「注意」(6ページ)と併せてご覧ください。

使用上のご注意

長い間ご使用にならないときは


- 本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜き、使用途中のインクリボンおよびプリント紙をプリンターから取り出して保存してください。
- プリントバックを使用途中で保存する場合は、製品の入っていた袋にもどして密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封して、使用してください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、次の手順で付属品をはずし、ご購入時の梱包材で梱包してください。付属品をつけたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

1 インクリボンカセットと給紙トレーを取りはずす。

2 内部の感熱ヘッドを固定する。

- ① プリンターの電源スイッチを入れる。
- ② STOP ボタン、 ボタンを同時に押す。
- ③ 電源スイッチを切る。

感熱ヘッドは固定されました。

感熱ヘッドの固定をはずすには

再度電源をいれます。感熱ヘッドは移動し、インクリボンカセットが取り付けられるようになります。

結露について

- 温度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたちだめた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。
- 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントバックを持ち込むと、インクリボンカセットやプリント紙に水滴が付くことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントバックを使用すると、プリント画像にシミ等が現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。

キャビネットのクリーニングについて

キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布を固く絞ってから、汚れをふき取ってください。その後乾いた布でからぶきしてください。

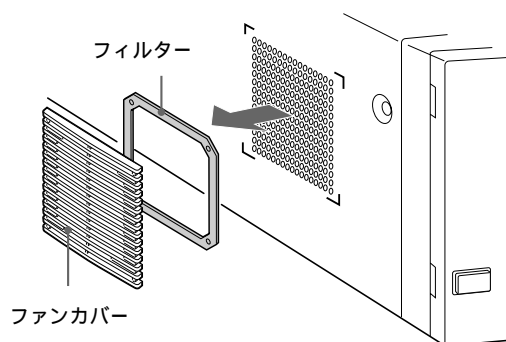
シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げを痛めることがありますので、使用しないでください。

フィルターを掃除するには

本機の左側面と後面には通風孔があります。

液晶ディスプレイにCLEAN FAN FILTERというメッセージが現れたら、左側面のフィルターを掃除してください。

1 ファンカバーをはずしフィルターを取り出す。

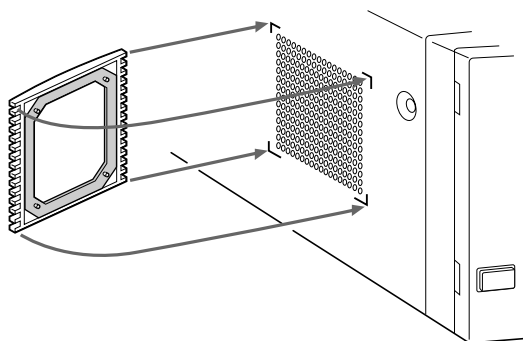


2 ほこりを掃除機などで吸い取る。

ご注意

- ・フィルターを掃除機に吸い込まれないようにしてください。
- ・フィルターの網を強くこすらないでください。

3 フィルターを元に戻し、ファンカバーを本体に取り付ける。



使えるインクリボンとプリント紙

プリントするには、インクリボンカセットとプリント紙が必要です。(インクリボンカセットとは、付属のインクリボンホルダーに別売りのインクリボンを装着したものです。)

インクリボンとプリント紙は、同じ箱に入っているものをペアでお使いください。インクリボンとプリント紙を異なった組み合わせで取り付けたときは、液晶ディスプレイにエラーメッセージが出てプリントできないことがあります。

カラープリントパックUPC-8810

カラーのインクリボン1巻とA4サイズのプリント紙が100枚入っています。

カラープリントパックUPC-8817

カラーのインクリボン1巻とA4サイズより一回り大きいプリント紙が100枚入っています。

この用紙を使用すると、A4の大きさを画像がプリントされます。

白黒プリントパックUPC-8820

白黒のインクリボン1巻とA4サイズのプリント紙が100枚入っています。

セルフラミネーティングプリントパックUPC-8840

ラミネーション用のインクリボン1巻とA4サイズのプリント紙が70枚入っています。

セルフラミネーティングプリントパックUPC-740

ラミネーション用のインクリボン1巻とA4サイズのプリント紙が72枚入っています。

セルフラミネーティングプリントパックUPC-747

ラミネーション用のインクリボン1巻とA4サイズより一回り大きいプリント紙が72枚入っています。

この用紙を使用すると、A4の大きさを画像がプリントされます。

プリントパックUPC-88xxシリーズについてのご注意

カラープリントパックUPC-8810/8817、白黒プリントパックUPC-8820、セルフラミネートプリントパックUPC-8840については、シリアル番号6桁のUP-D70Aでは使用できませんのでご注意ください。

ご注意

- 必ず専用のプリント紙とインクリボンをお使いください。専用以外のものを使用すると、きれいなプリントができないばかりでなく、故障の原因となる場合があります。
- インクリボンとプリント紙は、1回使い切りタイプです。ご使用後は、新しいものに交換してください。

主な仕様

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	最大270 W
動作温度	5 ~ 35
最大外形寸法	約493.8 × 176 × 468.8 mm (幅 / 高さ / 奥行き) 最大突起部含まず。
質量	約19kg
プリント方式	昇華熱転写型、YMC3色重ね印画
感熱ヘッド	11.8ドット/mm、2560ドット(300 dpi)
プリント階調	各色256階調処理(イエロー、マゼンタ、シアン)
最大プリントサイズ	A4サイズ: 271.6 × 203.2 mm A4+サイズ: 297.0 × 215.9 mm
プリント画素数	A4サイズ: 3208ドット × 2400ドット A4+サイズ: 3508ドット × 2550ドット
プリント時間	約85秒(カラープリント時、300 dpi) 約115秒(ラミネートプリント時、300 dpi)
画像メモリー	48 Mバイト: 4096 × 4096 × 3 × 8 bit
デジタルインターフェース	SCSI × 2(アンフェノール型50ピンコネクター) PARALLEL DATA IN(パラレルデータ入力)コネクター × 1(アンフェノール型36ピン)
付属品	インクリボンホルダー(1) 給紙トレイ(1) 排紙トレイ(1) ファンカバー(1) ボトムカバー(1) 電源コード(1) プラグ変換アダプター(1) 取扱説明書(1) CD-ROM(1) ソフトウェア使用契約書(1)

別売り品

インクリボン / プリント紙

カラープリントバックUPC-8810^{a)}

カラープリントバックUPC-8817^{a)}

白黒プリントバックUPC-8820^{a)}

セルフラミネーティングプリントバック
UPC-8840^{a)}

セルフラミネーティングプリントバック
UPC-740

セルフラミネーティングプリントバック
UPC-747

a) カラープリントバックUPC-8810/8817/
8820/8840については、シリアル番号
6桁のUP-D70Aでは使用できませんの
でご注意ください。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、デジタルカラープリンターUP-D70Aの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低10年保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては、修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因 / 処置
液晶ディスプレイに何も現れない。	POWERスイッチが入っていません。 → POWERスイッチを入れます。(11ページ) 電源の接続が正しくされていません。 → 接続を確認します。(17ページ)
プリントできない。	画面にエラーメッセージが出ています。 → 「エラーメッセージ一覧」に従って処理します。(37ページ) インクリボンカセットとプリント紙が入っていません。 → インクリボンカセットとプリント紙を入れてください。(19、22ページ)

エラーメッセージ一覧

異常が起ると、本機前面のALARMランプが点灯し、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージにしたがって次に示す処置をしてください。

メッセージ	意味 / 対策
IMAGE TOO LARGE	プリント画の範囲の設定がプリント可能範囲を越えているためプリントできません。 → プリント範囲を再設定し、プリントし直してください。
END OF RIBBON	インクリボンがなくなりました。 → 新しいインクリボンと交換してください。(19ページ)
HEAD IN COOLING	感熱ヘッドの温度が上昇しました。 → メッセージが消えるまでお待ちください。連続プリント中は、ヘッドが冷えメッセージが消えてから、プリントが再開されます。
HEAD IN HEATING	感熱ヘッドを予熱中です。 → メッセージが消えるまでお待ちください。ヘッドが予熱されメッセージが消えてから、プリントが開始されます。
CLEAN FAN FILTER	ファンカバーが汚れています。 → ファンカバーをはずし清掃してください。(33ページ)
NO RIBBON	インクリボンカセットが正しく本体に差し込まれていません。 → インクリボンをインクリボンホルダーに装着し、差し込んでください。(19ページ)
NO IMAGE DATA	プリンターに画像データが記憶されていません。 → コンピューターから画像データを転送してください。(24ページ)
NO PAPER	プリント紙がなくなりました。 → プリント紙を入れてください。(22ページ)
PLEASE WAIT	このメッセージはプリントの途中で電源を切ったり、STOPボタンを押してプリントを中断した場合、またはプリント紙とインクリボンの組み合わせが間違っているためにプリントが自動的に中断された場合に現れます。プリント紙が途中に残っています。 → プリント紙が排出されるまでお待ちください。

故障とお考えになる前に(つづき)

メッセージ	意味 / 対策
CHECK PAPER AND PRESS [⇔]	紙づまりが起きた可能性があります。 → つまっているか確認し、紙づまりの時は紙を取り除いてください。確認および紙取り除きを終了したら⇔ボタンを押してください。(39ページ)
REMOVE PAPER AND PRESS [⇔]	紙づまりが起きました。 → つまった紙を取り除き⇔ボタンを押してください。(39ページ)
RESERVED	プリンターが独占使用(リザーブ)されています。STOP ボタン以外は使用できません。 → STOP ボタン以外のボタンを操作したい場合は、コンピューターからリザーブ状態を解除してください。詳しくは、お使いのコンピューターまたはソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
RIBBON ERROR	インクリボンに異常が起きました。 → インクリボンが切れていないか、また、インクリボンとトレイが正しく装着されているか確認してください。(14、20、21ページ)
RIBBON & PAPER MISMATCH	インクリボンとプリント紙の組み合わせが間違っています。 → 正しい組み合わせにしてください。(34ページ)
MECHA TROUBLE	プリンターに異常が起きました。 → 電源を切り、その後再度電源スイッチを入ると操作できるようになります。この方法で対処してもメッセージが消えず、最度本メッセージが表示された場合は、電源を切り、お近くのソニーサービス窓口にご連絡ください。

つまった紙を取り除く

PRINT ボタンを押した後、プリントが始まる前またはプリント中に紙づまりが起きると、「REMOVE PAPER AND PRESS [⇔]」というエラーメッセージが現われ、プリントは止まります。

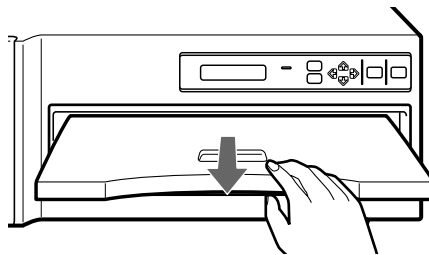
次の手順で、排紙口、給紙トレイ内、給紙トレイの下の3箇所を確認し、つまっている紙を取り除きます。

ご注意

次の操作中、プリンター内部の部品にさわるときは、内部部品でけがをしないようにご注意ください。

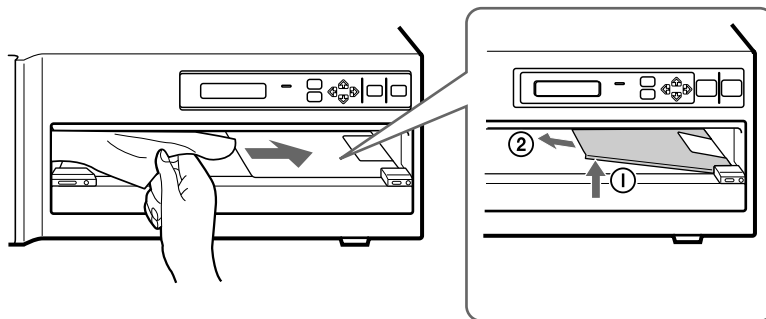
1 排紙トレイを取り出す。

プリント済みのプリント紙が排紙トレイの上にあるときは、排紙トレイを取り出す前にプリント済みプリント紙を取り出してください。



2 排紙口にプリント紙が見えているときは、まっすぐ右方向にゆっくり取り出す。

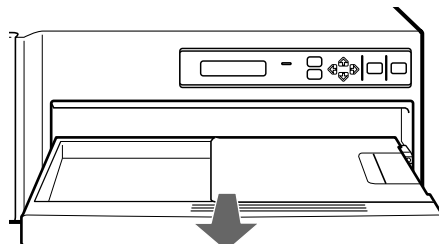
給紙トレイ内に給紙途中で止まっている紙があれば、右方向にずらして取り除きます。給紙トレイカバーがじゃまになるときは、カバーをはずします。



トレーカバーをはずすには、トレーカバーを①のように持ち上げてから、②の方向にひっぱる。

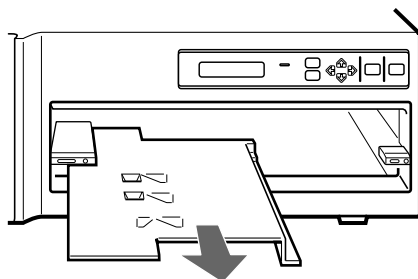
3 給紙トレイのPUSHの部分を押す。

給紙トレイが取り出せます。

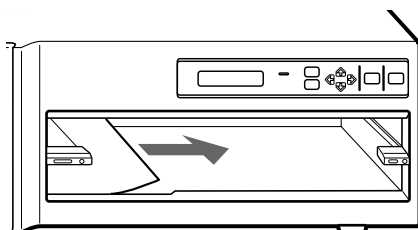


(続く)

4 ボトムカバーをはずす。



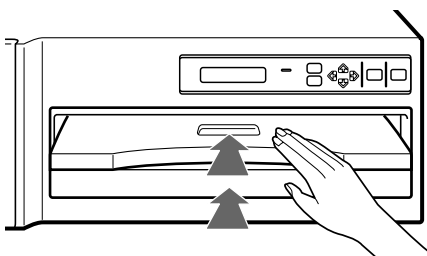
5 底の部分にプリント紙がある場合は、取り除く。



6 プリント紙を正しくセットする。

手順2と5で取り除いたプリント紙は使用しないでください。

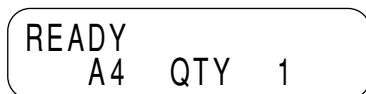
7 ボトムカバーを取り付け、排紙トレー、給紙トレーを差し込む。



8 ⇨ ボタンを押す。

エラーメッセージが消え、READY 表示に戻ります。

液晶ディスプレイの表示



五十音順

あ

アフターサービス 36

い

インクリボン 19、34

インクリボンカセット 19

取り出しボタン 20

取り付ける 19

インクリボンホルダー 19

え

エラーメッセージ 37

お

お手入れ 33

主な仕様 35

か

階調 29

各部の名称と働き 11

紙づまり 39

画質 29

感熱ヘッド

固定 32

固定をはずす 32

き

給紙トレイ 14、22

く

組み立て 14

クリーニング

キャビネット 33

フィルター 33

グレーバランス 30

け

結露 32

こ

コンピューターの接続

パラレルインターフェースを介して 15

SCSIインターフェースを介して 15

し

色調 29

仕様

使用する電源 35

電源 35

プリントサイズ 35

使用上のご注意 32

使用例 10

せ

接続

コンピューター 15

電源コード 17

た

ターミネーター 16

ち

中間調 29

つ

通風孔 33

使えるインクリボンとプリント紙 34

つまった紙を取り除く 39

て

データ転送

途中でやめるには 25

電源 35

と

特長 10

索引(つづき)

ふ

- ファンカバー 13、33
- フィルター 13、33
- 付属品を確認する 13
- プリンタードライバー
 - インストール 16
 - 取扱説明書 9
- プリント画の保存上のご注意 26
- プリント画を調整する 28
 - 階調 29
 - 画質 29
 - 色調 29
 - 中間調 29
 - ラミネーションパターン 29
- プリント紙 22、34
 - 入れる 22
 - プリント面 22
 - プリント面保護紙 22
 - 保存上のご注意 23
- プリントする 24
 - 同じ画像を続けてプリントする 25
 - プリントできないとき 26
 - プリント枚数を設定する 27
 - プリントを途中でやめるには 25
- プリントバック 34
- プリント枚数設定メニュー 27
- プリント面 22
- プリント面保護紙 22

ほ

- 保証期間 36
- 保証書 36
- ボトムカバー 14、40

め

- メモリー
 - メモリー容量 25

ゆ

- 輸送時の注意 32

ら

- ラミネーションパターン 29

り

- リポンドア 19

アルファベット順

A

ALARMランプ 37

B

BLUE 29

C

CD-ROM 9、16、30

CHECK PAPER AND PRESS [⇒] 38

CLEAN FAN FILTER 37

D

DARK 29

DIPスイッチの設定 16

E

EJECTボタン 20

END OF RIBBON 37

G

GAMMA 29

GREEN 29

Glossy 29

H

HEAD IN COOLING 37

HEAD IN HEATING 37

I

IMAGE TOO LARGE 37

L

LIGHT 29

M

Matte 29

MENUボタン 18、28、30

N

NO IMAGE DATA 37

NonGlare 29

NO PAPER 37

NO RIBBON 37

O

OFF 29

P

PLEASE WAIT 37

PRINT QTYボタン 27

PRINTボタン 24、25、27

R

RED 29

REMOVE PAPER AND PRESS [⇒] 38

RESERVED 38

RIBBON & PAPER MISMATCH 38

RIBBON ERROR 38

S

SCSI デバイスタイプの設定 18

SCSI ID 17

SHARPNESS 29

T

TERMINATOR 16

Texture 29

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Printed in Japan

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。